



国際メンタリング・ワークショップ° Virtual Joshikai in Fukushima 2021 結果概要

2021年11月

原子力損害賠償・廃炉等支援機構

開催概要

◆ 日程：

2021年10月12日(火)・13日(水)・14日(木)

◆ 場所：

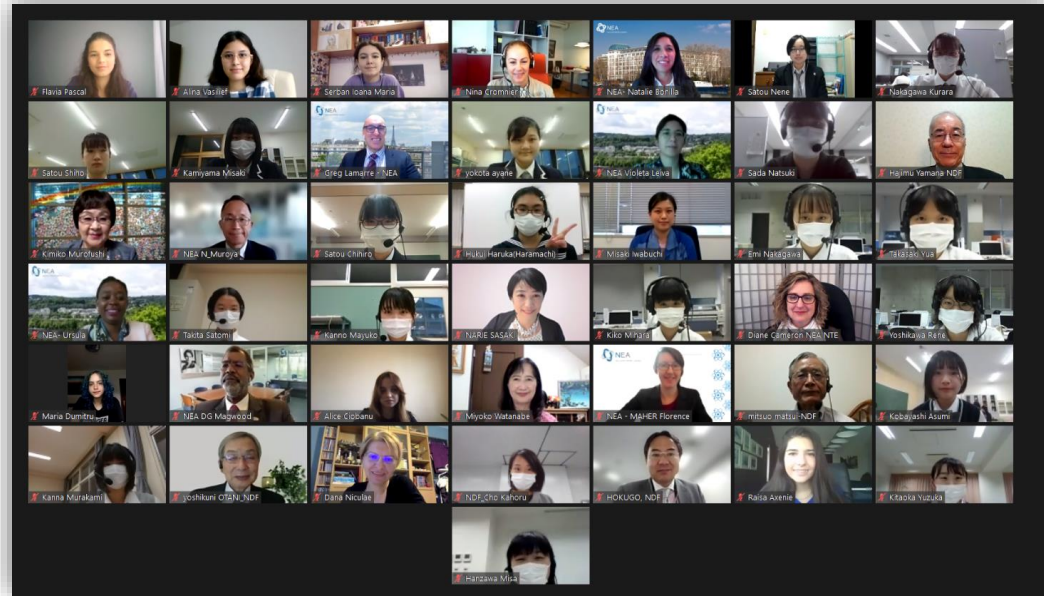
オンライン

NDF、NEA本部、各参加校、各メンター所在地など
(20か所程度)

◆ 共催：

経済協力開発機構原子力機関(OECD/NEA)

◆ 参加者：



福島県内高校生(8校)	16名	福島高専・会津学鳳高校・安積高校・安積黎明高校・磐城高校・原町高校・福島高校・ふたば未来学園
福島県外高校生(1校)	2名	天王寺高校
海外高校生	6名	ルーマニア
メンター	8名	国内外共同議長(各1名)・国内共同議長代理(1名)・国内メンター(2名) 海外メンター(3名)
その他		特別講演(1名)、オブザーバー(各校教諭など)





テーマ 理工系分野での私の未来を考える

Why are STEM careers so important today and towards building our future?

DAY1 10/12 (火)
オープニング
開会挨拶 (NDF&NEA)
基調講演 (国内・海外共同議長)
福島レクチャー (NDF)
共同議長代理及びメンター講演
アイス・ブレイキング
閉会

DAY2 10/13 (水)
オープニング
グループ・ディスカッション 1
休憩 メンター交代
グループ・ディスカッション 2
DAY2講評
閉会

DAY3 10/14 (木)
オープニング
発表準備
参加生徒発表 (個人)
共同議長・議長代理による講評
閉会挨拶 (NDF&NEA)
閉会

Joshikaiの合言葉は
"We can do it!"





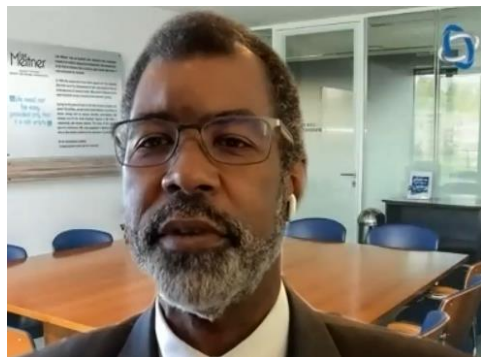
挨拶

主催/共催それぞれの代表より参加いただいた生徒へ向けて挨拶がありました。



主催：原子力損害賠償・廃炉等支援機構理事長
山名 元

オールジャパンでの若い力に期待したい。世界で活躍するメンターや仲間との対話を通して刺激を受け、活躍の道を歩んで欲しい、との期待が寄せられました。



共催：経済協力開発機構原子力機関(OECD/NEA)事務局長
ウィリアム D マグウッドIV

多くの優秀な女子生徒が各分野で活躍されているメンターとの交流でSTEM(科学・技術・工学・数学)分野でその可能性を発揮して欲しいとの激励をいただきました。



基調講演

国内外の共同議長より、女性の理工系進学、理工系分野で働くことについての現状と今後の課題、女性が活躍していける社会についてお話しをしていただきました。



2021年10月12日

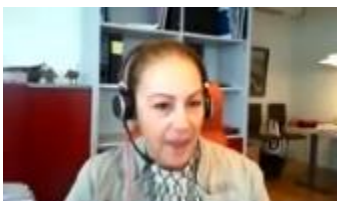
女性の力が未来を拓く
女性研究者・技術者への期待



共同議長 室伏 きみ子

国内共同議長：室伏 きみ子(お茶の水女子大学名誉教授)
「女性研究者の力が社会の未来を拓く」

理工系女性の推移や、活躍度と経済効果の関係など、女性の理工系分野での活躍の重要性をデータで示し、理工系分野での活躍の後押しをいただきました。



Strål
säkerhets
myndigheten
Svea

OECD Mentoring workshop

Keynote presentation

Nina Cromnier

Director General, Swedish Radiation Safety Authority

海外共同議長：ニーナ・クロミニエル(スウェーデン科学庁局長)
“ We can do it! ”

学ぶことを止めると成長も無くなり、つまらなくなってしまう、
未来のリーダーである皆さんには、今の世の中をより良いものにするためにも
全力を尽くして欲しい、とお言葉いただきました。



福島レクチャー



Nuclear Damage Compensation and Decommissioning Facilitation Corporation

福島レクチャー

～廃炉の概要・廃炉に携わる人々～

2021年10月12日
長 かほる
原子力損害賠償・廃炉等支援機構
(NDF) 技術G

4. 福島第一原子力発電所の廃炉とは？

- 廃炉とは、発電所の設備の解体などを進め、放射性物質によるリスクから人と環境を守る活動
- 発電所の設備を解体するには、大きく分ると4つの作業が必要
 - ①汚染水対策
 - ②プールからの使用済み燃料取り出し
 - ③燃料デブリ取り出し
 - ④廃棄物対策

NDF ©Nuclear Damage Compensation and Decommissioning Facilitation Corporation

原子力損害賠償・廃炉等支援機構
技術グループ
長 かほる

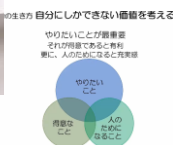
2011年3月に起こった東京電力福島第一原子力発電所事故から2021年は節目の10年を迎えました。今回のVirtual Joshikai 2021「福島レクチャー」では、福島第一原子力発電所事故発生時から発電所の廃炉の10年の進捗状況を分かりやすく解説しました。

また、1Fで働く人、仕事内容の紹介を交え、廃炉と復興の両立、女性の活躍などを紹介しました。このレクチャーを通し、福島の問題＝日本の課題として、原子力発電所の廃炉について、福島の抱える問題・課題などを改めて見つめ、向き合う時間を持つことを目指しました。

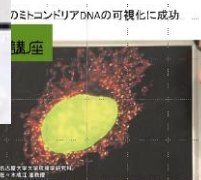


共同議長代理・メンター講演

国内外のメンターより、「理工系を選択された理由」「現在の仕事について」「女性が理工系を選択し、社会で働いていくこと」などについてお話しいただき、これから社会にはばたく参加者へ向けて、アドバイスやエールをいただきました。



科学技術振興機構 (JST)
副理事
渡辺 美代子



お茶の水女子大学
ヒューマンライフイノベーション研究所
佐々木 成江



東京電力HD(株)
福島第一廃炉推進カンパニー
福島第一原子力発電所
岩渕 美咲



経済協力開発機構
(OECD/NEA)
原子力技術開発経済部
ダイアン・キャメロン



ホリア・フルバイ国立物理核工学
研究所
ダナ・ニクラエ



ベルギー原子力研究所
環境安全衛生研究所
ヒルデガド・ヴァンデノーヴ

ワークショップ



グループ・ワーク

6グループに分かれ、海外メンターのグループにはルーマニア高校生も参加し、メンター講演を聞いて感じたことやメンターへの質問などを交え、グループディスカッションを行い自分の将来について改めて考える時間としました。
また、福島レクチャーの感想を述べることで、福島についても考えることができました。

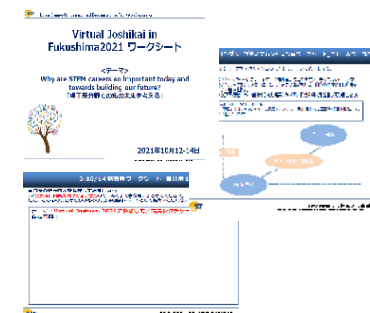
グループディスカッション (2日目)

70分のグループディスカッションを日本人メンターと海外メンターと各1回ずつ行いました。

事前に、聞きたいこと・自分の考えをまとめ、ワークショップに臨みました。
各分野で活躍されているメンターと直接お話しのできる貴重な体験となりました。



Joshikai2021 ワークシート



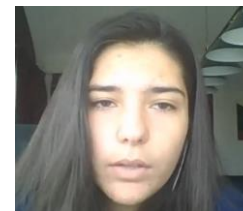
発表

(3日目)

参加生徒全員が各自3分で、Virtual Joshikai in Fukushima 2021に参加して感じたことを発表しました。

<参加生徒意見・感想>

- ・理工系であることに自信がついた。
- ・女性研究者の存在がいかに大切か理解を深めることができた。
- ・科学の幅広さが分かり、活躍の場が沢山あることを知った。
- ・福島について積極的に発信しようと思った。





特別プログラム

高校生による3つの特別プログラムがありました。

1. Joshikai2020参加者がIAEAサイドイベントで発表したビデオ



福島についての想い、廃炉に対する考えを、英語で発信してくれました。今後もJoshikai参加者が世界で活躍していくのが楽しみです。

2. アメリカ、モンビスタ高校のロボティクスクラブの生徒さんからのメッセージビデオ

理工系の勉強を頑張っている様子をレポートしてくれました。



3. ルーマニアから参加してくれた生徒さんによるプレゼンテーション



ルーマニアでの自分たちの生活を紹介してくれ、海外の高校生の生活に直に触れることができる機会となりました。

第5回福島第一廃炉国際フォーラム



第5回福島第一廃炉国際フォーラム

2021年10月31日（日）に福島県浪江町で開催された
NDF主催「第5回福島第一廃炉国際フォーラム」にJoshikai 2021の代表者2名が登壇しました。
Joshikaiについてのプレゼンテーションを行い、パネルディスカッションに参加しました。



渡辺美代子先生に、Joshikai共同議長代理として
登壇いただき、Joshikai 2021の成果発表を
していただきました。

Joshikai2021での成果発表を1人ずつ行い、
廃炉関係者とのパネルディスカッションに参加、
福島と廃炉について意見交換を行いました。



OECD/NEAのマグウッド事務局長
からも、Joshikai参加者に対して
後押しのメッセージがありました。



アンケート



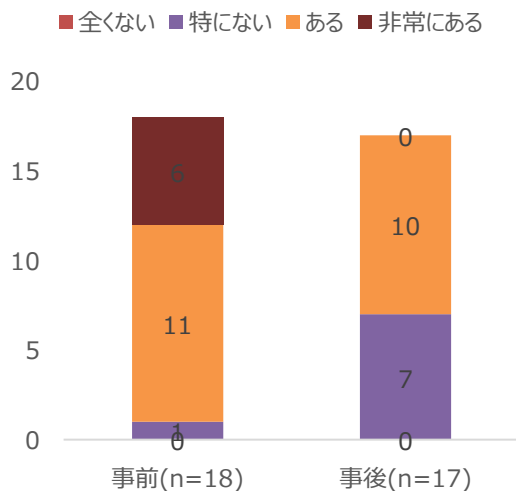
ワークショップ事前・事後でアンケートを取りました。

ワークショップ前は進路に不安を抱えていた生徒も、メンター講演やディスカッションを通して不安が解消され、希望する進路が具体的になったり、社会人になることへの期待が高まったりと、メンタリングの効果が見られました。

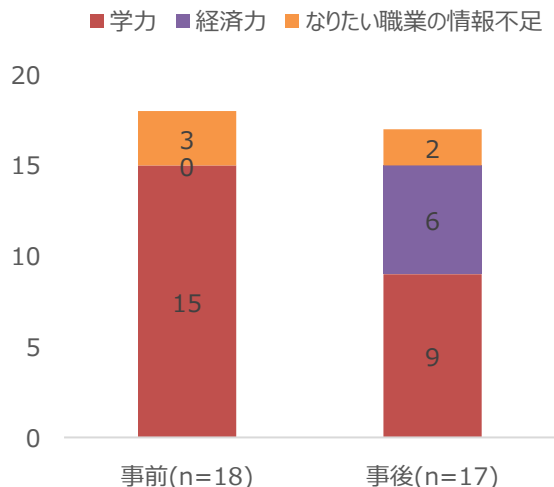
また、福島レクチャー後、1F事故への理解が深まり、福島復興への取組に対するモチベーション向上が見られました。

【進路について】

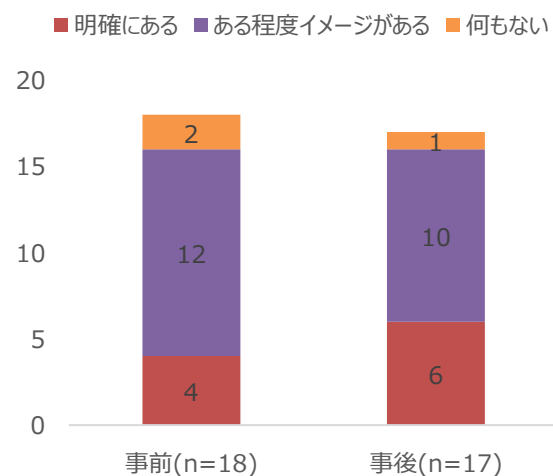
進路に関して不安が



進路に関して不安な原因は



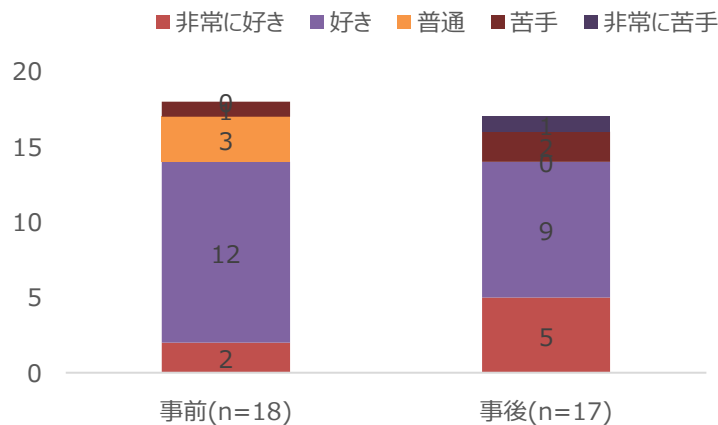
将来の夢が



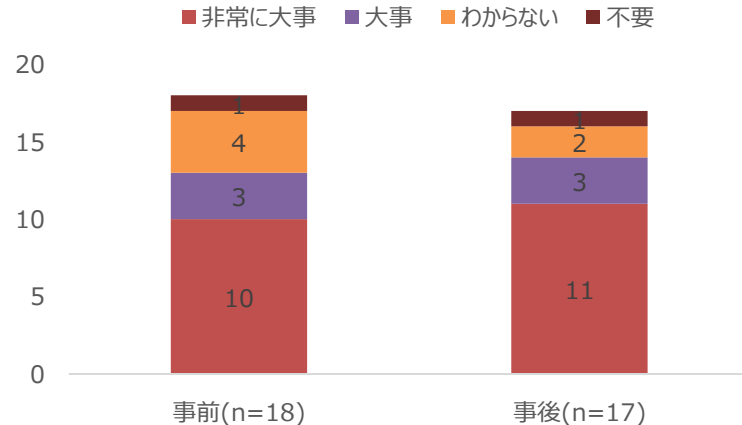
アンケート

【理系科目について】

現在理数系教科が

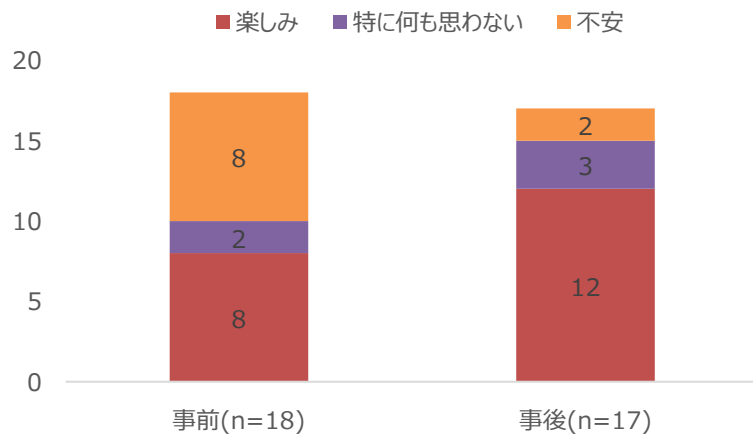


自身の将来に理系科目は

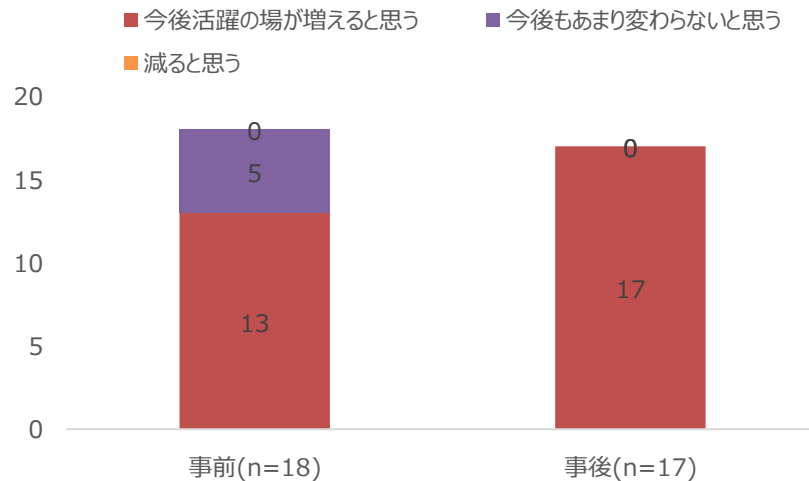


【女性と社会】

社会人になることが



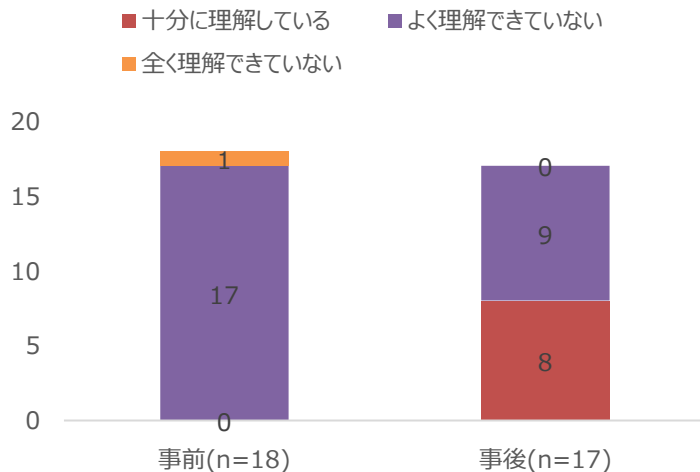
女性の社会進出は



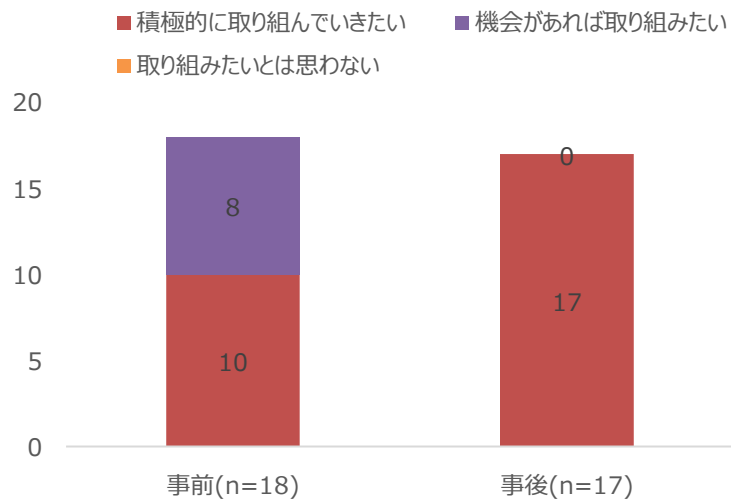
アンケート

【福島の復興および社会と科学的知識について】

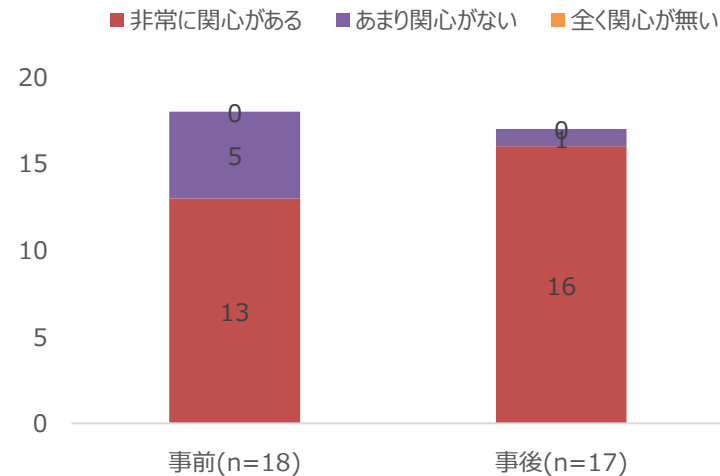
1F廃炉に関して



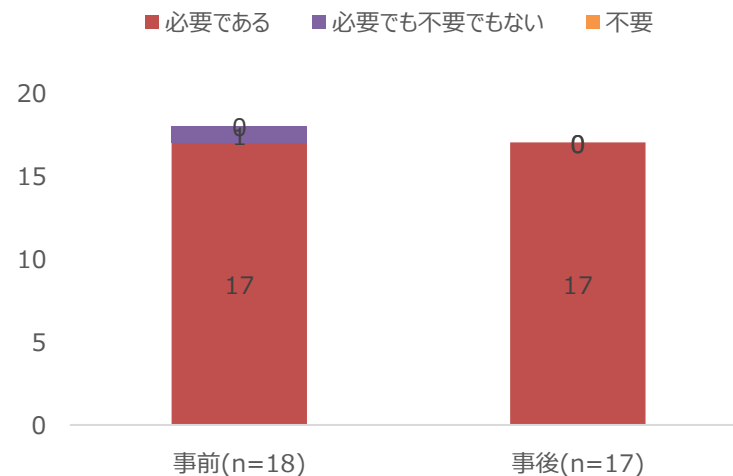
福島の復興に



福島の復興に関して



福島の復興について科学的知識が

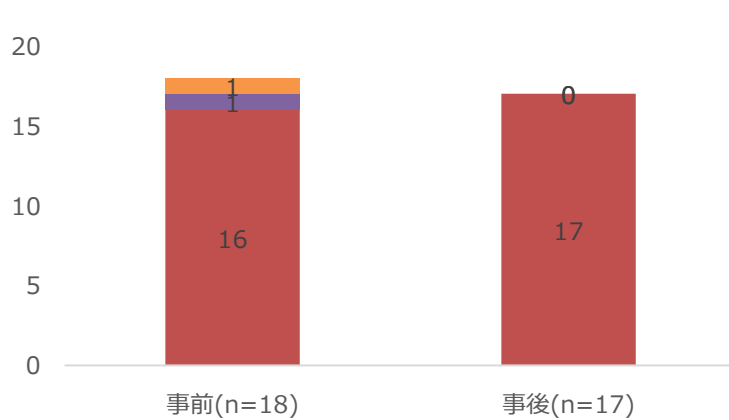


アンケート

【国際関係】

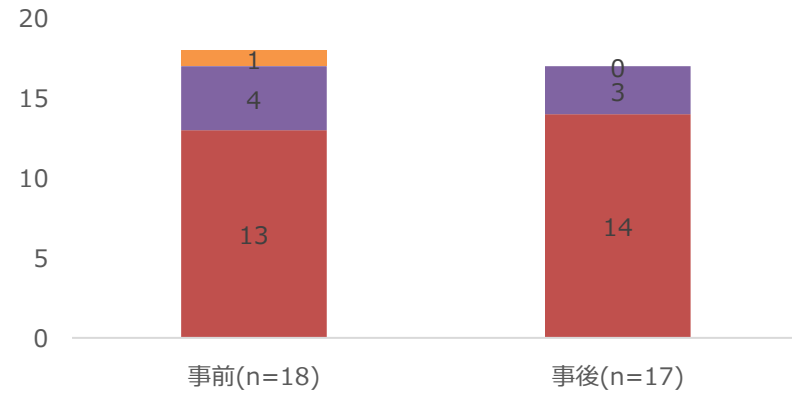
海外留学に

■ 興味がある ■ 特に興味はない ■ 全く興味はない



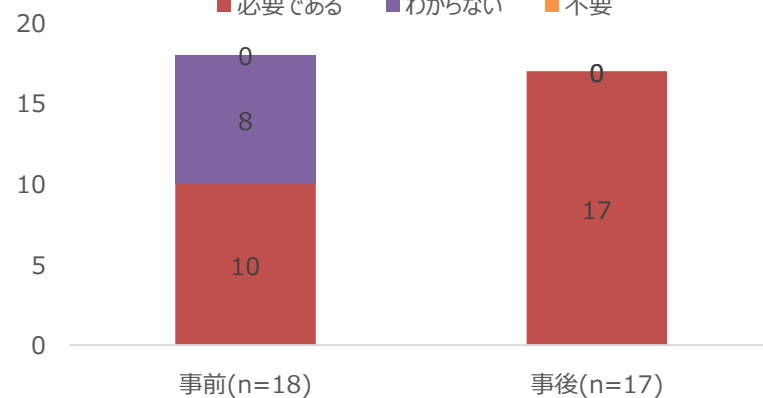
海外で働くことに

■ 興味がある ■ 特に興味はない ■ 全く興味はない



1F廃炉はじめ福島復興に 海外の知見が

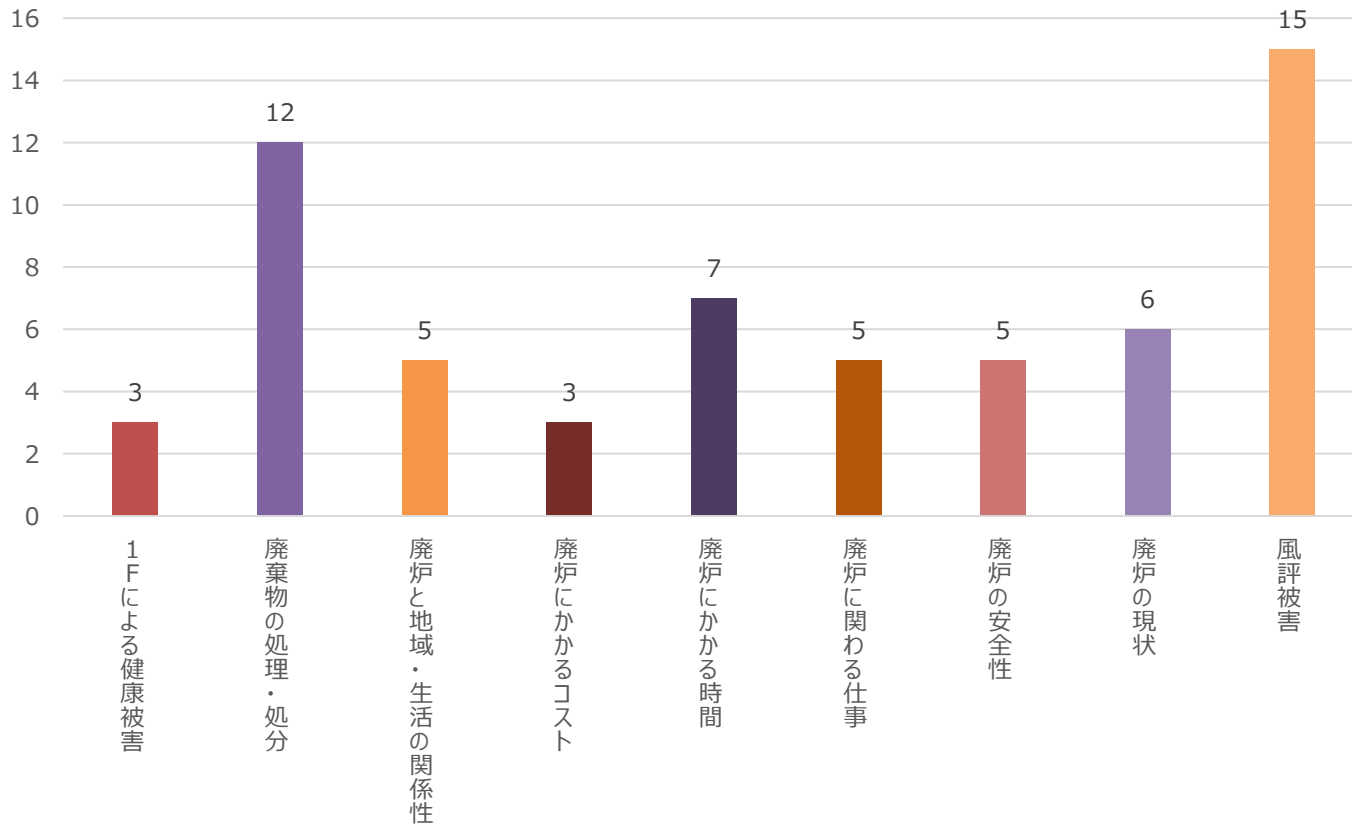
■ 必要である ■ わからない ■ 不要



アンケート

参考

1 F 廃炉に関して知っていることは何ですか？（複数回答可）



アンケート

参考

1 F 廃炉に関して知りたいことは何ですか？（複数回答可）

